

# 現代用語の

The Encyclopedia of contemporary words

日本の「ことば」を見つめて、61年  
戦後出版史を超えて  
さらなる新語を刻み続ける  
ロングセラーの金字塔

Since  
1948  
年創刊

# 基礎知識

自由国民版 2009.1

別冊付録



クイズでわかる世界のいま  
世界の国と  
人びとと学習帳

ことばの解説を通して  
社会現象の本質が読める  
日本で唯一の  
新語・新知識事典

■巻頭  
2009年を読み解くことば

■特集  
用語解説を  
読むための基礎知識

■くらしの特集  
年金  
受給のために必要な知識

■世相08  
カタロペディア  
やくみつる  
長谷川義史

■巻末  
流行語大賞の25年



# 2009



# 循環

CO<sub>2</sub>の排出削減だけがエコロジーなのか。炭素のみならず、すべての物質は流転している。その「循環」を妨げないようにすることこそが、環境問題の本質なのだ。プラスの何かをすることよりも、マイナスの何かをしないことを、真剣に考えなければならぬ。

分子生物学者

福岡伸一

たとえば、私たちが生物は、常に必死に自転車をこいでいる状態にある。追手から逃れるためである。追手は生物をとらえて、生命の持つ秩序を壊そうとたくらんでいる。

追手の名は、「エントロピー増大の法則」である。エントロピーとは乱雑さの尺度であり、エントロピーが増大するとはつまり、秩序が作り出されるのとは逆方向の動きのことだ。この宇宙のすべての現象は、エントロピーが増大する方向へと進む。輝けるものはいつか錆び、支柱や梁はいずれ朽ち果てる。いかなる情熱もやがては消え、整理整頓された机の上もすぐに本や書類が積みあがる。エントロピーが増える方向に時間は流れ、時間の流れはエントロピーが増える方向に進む。時間を逆転できないように、エントロピー増大の法則に逆行することはできない。生命

現象も、この宇宙の大原則から免れることはできない。しかし、ひとつだけエントロピー増大の法則と戦う必要がある。エントロピー増大の法則に先回りして自らをあえて壊し、そして作り変えるという自転車操業を続ける限りにおいて、生物はその生命の秩序を維持することができる。しかしそれはわずかなあいだけのことである。勝ち続けることはできない。究極的には、エントロピー増大の法則はいつか必ず私たちをとらえる。そして自転車を追い越す。それが死である。

私たちの身体において、たゆまず、けなげに自転車をこぎつづけているのは、私たちを構成するひとつひとつの細胞である。彼らのおかげで私たちは何十年かを生きながらえる。20世紀半ばに勃興し、今日まで進展し続ける分子生物学の成果を眺めるとある興味深い事実気づく。どのようにDNAは合成されるのか。いかにしてタンパク質は組み立てられるのか。私たちは生命のミクロな分子群が精妙なメカニズムでつくられる仕組みを追いかけそれを解明してきた。つまり、つくることがばかりに目を奪われてきた。構築の原理がわかれば、世界の成り立ちがわかるはずだと思うのは、ある意味、当然のことであった。

ところがここへ来て、急速に明らかになったのは意外な事実だった。細胞は、つくる仕組みよりも、こわす仕組みの方をずっとずっと大切にしており、そのやり方はより精妙で、キャパシティもより大きい。そういうことがわかってきたのだ。タンパク質の合成ルートは一通りしか存在しない。しかし、タンパク質を分解するルートは何通りも存在し、緊急時のバックアップまで万全なのだ。

どうしてこんなふうになっているのか。ここにエントロピー増大の法則に抵抗するからくりがある。酸化、損傷、変異。エントロピー増大の法則は様々な形で細胞の分子を損なっていく。止まることなくそれを分解し、エントロピーを排除し続けながら更新すること。その流れを維持す

ること。それが生きていくということなのである。だから新しく合成された分子は、細胞内で、つくられたとたん分解されはじめる。溜めること・とどめることは生命にとって破滅を意味するのである。

このように生命をとらえ直すことによって古くて新しい視点が生みだされる。生命が流れであるという視点だ。万物は流転し、流れる水はもとの水にあらずという生命観である。生命現象の流れこそが、分子と原子の循環を作り出している。現在、もっとも憂慮されている二酸化炭素の問題もこの点から考える必要がある。大気中の二酸化炭素が増加しているのは、循環が滞っているということであり、エントロピー増大が進行しているということである。インプットが多すぎ、アウトプットが追いつかないということである。この澱みに流れを与えることができるのはただひとつ、植物が持つ炭酸同化作用という生命現象である。環境に配慮するとは、循環を妨げないということであり、生命現象の流れをせき止めないということである。

- エントロピー増大の法則 ↓ 736 ページ
- たんぱく質 ↓ 818
- 壊し屋たんぱく質 ↓ 750
- 温室効果ガス ↓ 757

# 早期教育

大人の眼に見える能力を獲得することと、子供だけにしか見えない世界に別れを告げること。ことばを育むということについて、母国語と外国語、大人語と子供語のあいだで考える。

翻訳家／文芸評論家

鴻巣友季子

国際化社会なるものを迎え、英語習得が必須だと言われる。いや、だからこそ、その前に日本語力だ、とも言われる。「どうしたら英語力、日本語力がつくか」と訊かれることは以前からしばしばあったが、自分に子供が生まれ、今年『孕むことば』という子育てエッセイ集を上梓してからは、「子供に日本語の読み書きや英語を教えるにはどうすればいいか」と質問されることが増えた。ここでいう「子供」とは乳幼児である。言語に関しても、早期教育が盛んな昨今だ。

翻訳というのは原文を解釈するために文章をばらしたり、前から読んだり後ろから読んだりするような、ある意味「ことばの解体作業」といえる。一方、子供の言語的な成長過程につきあうというのは、人間の「ことばの建築現場」をつぶさに見せてもらっているようなものだ。翻訳と

子育てはわたしにとって、絶妙なバランス関係にあり、どちらも尽きせぬひらめきの宝庫、ことばの宝島である。親にとって、子から得るものは限りなくあるのだが、わが子が1〜3歳の頃を振り返っても、ことばを教えこんだという記憶はない。ただ、子供が発することば、ことばにもならない音の連なりを聴くこと（リスニング）には力を傾けていたと思う。

子供、とくに乳幼児の言語力というのは、おおかた親の「聴く力」のことだと思っている。最近では英語教育熱の高まりで、1歳2歳から英語漬けにする「イマージョン教育」をとり入れる親も少なくない。その教育法の是非はここでは問わないが、「ことばマニア」のわたしからすると卒倒しそうなケースも耳にするのである。例えば、自分では英語を話せない親が、英語のCDなど子供の前で流しっぱなしにし、日本語を聞かせるのは害になるので、ほとんど話しかけず、子供の言うことも聴かずに過ごした、という過激なケース。話しかけない聴かないでは、ことばが育つわけがない。ことばは、受けとられて初めて存在するのだ。

米国では以前から盛んだった「リスニング」という考えについて10年前にわたしが知ったのは、途中失聴者であるハンナ・メーカという作家を通じてだった。「聞こえるということ（ヒアリング）」と「聴くこと（リスニング）」は違う。前者は、脳が音声を認知しているにすぎないが、後者は意識的なもので、「相手のおかれた状況に、想像力をもって積極的に入りこむことであり、自分とはべつな評価基準を理解しようと努めることである」メーカの著書にはそう書かれていた。「聴くのは、耳で聴くとは限らない」のだと。

読み書きの教育に関していえば、実はわたしはさらに消極的である。今の時代、そんなことでどうするんだ！ と叱られそうだが、書き文字を早々に教えることには躊躇ためらいがあるぐらいなのだ。人は何歳かで字の読み書きを覚え始め、その後の70年、80年という人生を、文字と格闘しながら生きていく。子供の脳はまだ言語化という回路を通さず、液体に一瞬にして振動が伝わるよ

うな脳内の伝達システムを持っているそうだと。ことばを習得するというのは、ある意味ではその直感を失うことであり、さらに書き文字の世界に踏み入ったとき、高次の文化への鍵と引き換えに、またなにか大きな自由を手放す。人が文字なしで外界と関われるのは、最初の数年だけなのだ。大人には取り返せないその豊かな世界を思うと、ただでさえ短い年月をことさら縮めなくても、とつい思ってしまう。

作家の角田光代さんは幼稚園の頃、まったく字の書き方を習わなかったそうだと。小学校に上がって初めて字を覚えたとき、これで自分の思ったことをなんでも表現できるんだ！と、文字というものに驚き、感激し、体いっぱい充ちたものが溢れだすように、字を、ことばを、文章を、どんどん書いた。読書感想文なども、書くのが楽しくて楽しくていくらでも書いた。ちょうど自分の内面で感情や思考が複雑化して満ちてくる頃に、それを表すに相応しい媒体として文字と出会ったのだろう。あの新鮮な歓びがなかったら、そんなに書かなかつたらうと言う角田さんは、のちに直木賞作家になるのである。

文字で表現すべき情緒や思考が自己の中で充実する前に字の読み書きを覚えても、それはまさに字という記号の形を記憶したにすぎない。字を識別して書きつけることと、「ことば」や「文章」を読み書きすることは違うし、さらにその先には、小説や、詩や、恋人の手紙などを読むという、意味がひとつとは限らない「読解」の世界も待っている。すべては字をひとつ「読む」という地点から始まる長い道のりである。

2008年はノーベル化学賞、物理賞を計4人の日本人が受けたが、中にはなぜ受賞がこんなに遅くなったのかという声も聞かれた。文学の世界に目を向けると、その評価には科学に勝るとも劣らぬ時間がかかることを実感する。例えば、07年にノーベル文学賞を受けた英国作家ドリス・レスリングはこの時、88歳になる直前であり、今も代表作とされる『黄金のノート』発表か

ら45年が経過していた。05年の受賞者、英国の劇作家ハロルド・ピンターの場合、文学活動をやめると宣言してからの受賞である。小説、詩、戯曲……そう、ことばというのは、即時に効果や成果の見えにくいものなのである。しかしそれが本当の姿だとも思う。「読みながら涙がこぼれて止まりませんでした」などということ売り物にしている「泣けるお話」はケータイ小説含めごまんとあるが、多くは即効性だけであつというまに効き目が切れてしまう代物だ。

さて、字の読み書き教育には慎重なわたしだが、子供と一緒に物語を「読む」ことは楽しい。ときおり4歳の娘と小さな読書会をして、他愛もないお話の感想を言いあう。「ウサギとカメ」を読んだ後、娘が「わたしも本の中に入って行って、カメさんに、がんばれ、がんばれって言うてるみたいな気持ちになった」と言うのを聞いたとき、あつ、今この子は、「エンパシー（感情移入）」ということを自分なりのことばで表現したのだと思った。人から教えられた概念としてではなく、文学批評でもしばしば使われるこの厄介な用語の原点に立ち返った気がした。

そんなわけで、子供にどのように読み書きを教えていますか、という親御さんの質問には、「いや、こちらが教えられるばかりでして」と頭を掻くしかないわたしなのである。



# 保守

「日本は保守化しているのか?」「と問う前に、「保守とは何か?」を  
考えてみる必要がある。それは人間の限界を、誰もが抱える「悪」  
を真摯に見つめることなのだ。

アジア政治論

中島岳志

1990年代後半以降、日本は保守化しているとよく言われる。90年代前半からの戦後民主主義批判の高まりは、歴史教科書問題や靖国問題、歴史認識問題、謝罪外交批判へとつながり、一定の政治潮流を築いてきた。小林よしのりの『戦争論』のベストセラー化や「新しい歴史教科書をつくる会」の興隆、小泉元首相の靖国参拝への支持の高まりなどは、保守勢力の拡大現象として議論されてきた。2006年の安倍内閣発足、08年の麻生内閣の発足は、両首相が「保守主義」を掲げる政治家であったため、「日本は保守化している」という印象を内外に強く与えることとなった。

しかし、日本は本当に「保守化」しているということができるのだろうか? そもそも「保守」とはどういう思想なのだろうか?

私の目には、現代日本では「アンチ左翼」という意識や言説は高揚しているものの、真の保守思想については、ますます空洞化しているとしか映らない。「保守」を叫ぶ人々は、そのほとんどが左翼に対する鬱積した不満や苛立ちを表明しているにすぎず、「保守とは何か」という真摯な問いを発する人は、ほんの僅かしか存在しないというのが現状ではないだろうか。

では一体、「保守」とはどのような思想なのだろうか？

近代保守思想は、イギリスの政治家エドマンド・バークによるフランス革命批判に、その発端を求めることができる。バークは『フランス革命についての省察』を書き、フランス革命を支える啓蒙主義思想を批判した。そして、イギリスが伝統的に形成し保守してきた憲法や諸制度の中にこそ「歴史によって蓄積されてきた潜在的な知恵」が潜んでいるとして、フランス革命のような急進的なレジューム・チェンジを批判した。

バークをはじめとする保守主義者は、懐疑主義的な人間観を共有する。人間はどうしようもなく不完全で、その能力には決定的な限界が存在すると考える。人はどうしても嫉妬やねたみ、やつかみ、エゴイズムなどの負の側面を抱えて生きている。理想的でパーフェクトな人間など、この世の中には存在しない。保守主義者はそのような人間の悪を凝視し、人間の不完全性を謙虚に受け止めようとする。

そのため、彼らは人間の理性の限界を深く認識する。一部のエリートの理性によって理想社会を設計・構築することができるという発想を根本的に疑い、急進的な革命や社会改造を批判する。彼らは、不完全な人間によって構成される社会は永遠に不完全なものとして推移せざるを得ないという一種の諦念を共有し、進歩に対する希望的・楽観的観測を捨てる。

だから保守主義者たちは、人間の理性よりも、伝統や慣習、常識、神といった人智を超えたものに依拠し、漸進的な改革を継続することによって、社会の安定を図ろうとする。彼らは歴史の

風雪に耐えてきた制度や仕組みの中に「潜在的英知」を見出し、歴史的に蓄積されてきた社会的経験知を重要視する。

ただし、彼らは単なる「反動主義者」ではない。保守主義者は、絶対的な理想社会は歴史のどの段階においても実現してこなかったし、今後も実現することはないと考えるため、社会の変化に柔軟に対応しながら漸進的改革を進めようとする。彼らは、人間の理性の完全性を疑うがゆえに、啓蒙主義者たちの思弁的思想の普遍性を疑う。どんなに優れた思想家・哲学者でも、多くの人間の試行錯誤の中で継承されてきた経験知にはかなわず、如何ともしがたい限界を有していると深く認識する。

このような保守思想の骨子と照らし合わせたとき、「保守」を掲げた安倍晋三・麻生太郎両首相の主張は、はたして真の保守の主張といえることができるのだろうか？

両者は、共通して「価値の外交」を掲げ、「自由、民主主義、基本的人権、法の支配」などの「普遍的価値」を、アメリカ・オーストラリア・インドと協力して世界に敷衍ふいんさせるべきだと説いた。ここでは、中国を牽制するという目的を追求する余り、保守思想の核心部分を崩壊させてしまっている。保守思想家は、あくまでも集団的な歴史経験の中で形成されてきた具体的諸権利の擁護を強調する一方、啓蒙主義的な理性に基づく価値の普遍性に疑義を呈する。安倍・麻生の両氏が、保守の確立どころか、その思想的核部分を空洞化させてしまっているのは明白だ。

このような政治家による内閣が「本格的な保守政権」と言われる日本の現状を、果たして「保守化している」といえることができるのだろうか？ 今、日本に必要なことは、アンチ左翼という鬱積した感情を超えて、じっくりと保守思想のあり方を見つめなおすことだろう。そのことを通じて、熱狂する世論を諫めつつ「構造改革」のような不確実な未来への根拠なき希望的観測を退け、着実に漸進的な改革を遂行していくことこそが、今後の日本が進むべき賢明な道だと私は考える。

# 情報社会

用語の解説

青田 孝

フリーランス  
ライター

〔あおた たかし〕1947年東京都生まれ、日本大学生産工学部卒。毎日新聞東京本社編集局情報調査部編集委員などを歴任。

## 注目語'09

### ▼ガラパゴス現象

南米エクアドル沖の太平洋上に浮かぶガラパゴス諸島は独自の生態系の中で進化を遂げた。これになぞらえ産業界で一つの市場の中で固有の発展をすることを指す言葉で、主に日本の携帯電話市場をいう。日本の携帯電話会社は通信網の敷設からサービスの提供、端末の仕様から販売まで一手に担い、世界市場と無縁の形で発達してきた。そのため諸外国の端末に比べ高機能を誇るものの、通信方式の違いなどから、ほとんど海外で販売できず国際市場で

シェアを取れない。このほか、閉鎖的な日本市場そのものを指す言葉として使われることもある。

### ▼iPhone

米パソコン大手のアップルが世界中で発売する携帯電話機。2007年6月に欧米など6カ国で発売。08年5月末までに600万台売れている。08年7月には、GPS(全球測位システム)を搭載するなど、新たな機能も加わった「iPhone 3G」を、日本を含む22カ国で同時発売。なおインターホン最大手の「アイホン」とブランド名が類似しているため、両社が協議。アップルが「アイホン」というカタカナ表記を使わないことで合意した。

▼LTE (Long Term Evolution)  
携帯電話の通信速度を大幅に早くする次世代通信規格。早ければ2010年にも実用化される。第3世代携帯(3G)と同じ帯域の電波を使用するものの、第4世代携帯電話に近い技術であることから「第3・9世代(3・9G)」ともいう。またNTTドコモは、自社の3G、WCDMAを拡張した技術であることから「スーパー3G」と名づけ、08年2月、実用化に向けた屋外実証実験で毎秒250メガビットの PACKET 信号伝送に成功している。

### ▼可視光通信

自宅などにある照明などの可視光を使う最新の通信技術。歴史は古くグラハム・ベルが1880年、太陽光を使った音声無線通信まで遡る。近年、照明器具にLEDが使われるようになり実用化。LEDの「高速に点滅できる」という特性を使い、人の目にはわからないほどの高速でLEDを点滅させることでデータ通信を行う。家庭内の照明など身近な光源が、元の機能を損なうことなく端末さえ付ければ通信装置に変身する。信号機から車への情報伝達なども可能になり、電力線通信との連携もしやすく、場所を選ばない無線通信網の構築が可能になる。

### ▼白ロム

携帯電話本体のロム(記録媒体)に電話番号などの情報が書き込まれていない

状態、また契約がないこと、電話番号が逆に表示されている端末そのものを指す。逆に情報が書き込まれている端末を黒ロムと呼ぶこともある。携帯電話は電話番号などの加入者情報が登録されたICカードを本体に挿入し利用する。そのうちNTTドコモやソフトバンクの第3世代携帯電話は、SIMカードというICカードをだれでも簡単に着脱できるため、格安での機種変更目的で白ロム機種を購入するケースが多い。また、「高値で白ロムを買い取る」といつて新規に契約させ結局は機種代金を負担させる詐欺まがいの被害も多く発生している。

### ▼社会保障カード

国民1人ひとりが固有の番号付きのカードを保有し、年金手帳のほか、健康保険証、身分証明書などの個人情報管理するカード。2007年に政府がまとめた、「年金に対する信頼回復と新たな年金記録管理体制の確立について」の中で、対策の柱として盛り込まれた。11年度中の導入を目指している。今後は個人情報保護や、従来の「年金カード」構想とのすりあわせが議論の焦点になりそうだ。

### ▼ケータイ実務検定

総務省が2008年創設した認定資格制度。「ケータイソムリエ」とも呼ばれる。対象は携帯電話端末の販売員をはじめ携帯電話等の機器・ソフト開発

情報・メディア

情報社会

メディアと社会

インターネット

パソコン

テレビ放送

デジタル家電

情報経済

# 教育・学校

用語の解説

鈴木眞理

青山学院大学教授

勝野正章

東京大学准教授

## 注目語'09

### ▼脱ゆとり教育

2008年3月に告示された新学習指導要領では、理数科目を中心に授業時間数、教育内容が大幅に増やされることになった。02年に完全学校週5日制が実施され、教育内容が約3割削減されて本格的な「ゆとり教育」が始まったが、03年10月には早くも「確かな学力」重視へと軌道修正が図られ、今回の新学習指導要領では約40年ぶりに授業時間数を増加させることで「脱ゆとり教育」への転換を明確に印象づけることになった。ただし、文部科学省

は「確かな学力」を「生きる力」の一部に位置づけており、この「生きる力」を育むという方針は変わらないと説明している。新学習指導要領を受けて、これから新しい教科書の編集が進められることになるが、学力低下批判に答え、「脱ゆとり教育」を先取りする形で「発展的内容」を教科書に盛り込み、レベルアップを図った教科書がすでに続々と現れている。一方で、難易度を極端に下げたり、イラストを増やすなど親しみやすさを重視した教科書も増えており、二極化傾向がみられるようになっている。↓学習指導要領、PISA

### ▼学校支援地域本部事業

文部科学省が2008年度に開始した、地域ぐるみで学校を支援する体制を整備する事業。学校の求めに応じて、原則として中学校区を単位に、3年間かけて全国1800カ所モデルを形成する。地域教育協議会を、学校教員・PTA・公民館・自治会・商工会関係者等で構成し、退職教職員・PTA経験者等の地域コーディネーター（有償）のもと、無償の学校支援ボランティアによって学習支援活動・部活動指導・環境整備・子どもの安全確保・学校行事の開催等の支援を依頼するというのが基本パターン。これにより、教員にとっては子どもと向き合う時間の拡充になり、地域住民等は学習成果を生かす場になり、地域教育力の向上・地域の絆の強化になるという。

## 教育の理念と法

### ▼教育基本法 [Fundamental Law of Education]

2006年4月28日、政府が国会に提出した教育基本法改正案は、前文と18条からなり、与党内での調整が課題とされていた「愛国心」の表現は、「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」「態度」に落ち着いた。改正案は前文に「公共の精神を尊び」や「伝統を継承」の文

言を加え、2条で「創造性を培い、自主及び自律の精神を養う」ことや、「豊かな情操と道徳心を培う」など、教育の目標を規定した。また、男女共学の条文を削除し、新たに生涯学習の理念、大学、私立学校、家庭教育、幼児期の教育、「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」、教育振興基本計画についての条項を加えた。

国会では「愛国心」をめぐる論戦が交わされ、小泉首相は「愛国心があるかどうか、そんな評価は必要ない」と答弁したが、すでに学習指導要領に即して「国を愛する心情」が評価されている学校現場の実態も明らかになった。審議未了のため、秋の臨時国会での継続審議となり、政府案が原案どおり06年12月15日に成立し、22日に施行された。民主党案は廃案となった。

1947年の教育基本法が条件整備を教育行政の義務として、教育内容への介入に抑制的であったのに対して、06年の教育基本法は国家の教育に対する責任と権限をより強調している。教育研究者の間でも、この点を危惧する声が少なくなかった。

### ▼教育権 [right to education]

日本国憲法26条は「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する」と定めており、これを受けて義務教育費無償の原則も打ち立てられ

社会

教育・学校

NGO・NPO 汚職・経済事件

犯罪

防犯

都市問題

現代宗教

バリアフリー

社会福祉

社会保険

# 犯罪

## 用語の解説

「かとうひさお」1942年愛知県生まれ大阪大学大学院修了。法学博士。著書「人格障害犯罪者と社会治療」ポストゲノム社会の医事刑法入門」ほか。

加藤久雄 弁護士  
元慶應義塾大学教授

### 注目語09

#### ▼秋葉原無差別殺傷事件／荒川沖駅周辺連続殺傷事件

2008年6月8日(日曜日・午後0時半ごろ)東京・秋葉原の歩行者天国の交差点にトラックに乗った25歳の男が突っ込み、通行人をはねた後、ダガーナイフで次々に刺して、17名(うち死者7名)を殺傷する事件が発生した。大阪池田小事件(01年6月8日)以来の凶悪通り魔事件である。

また、3月23日にはJR荒川沖駅で、24歳の男がナイフで8人を殺傷する通り魔事件が起きたばかりであった。

#### 川沖駅周辺連続殺傷事件)

これらの両事件の犯人は、殺傷の対象は、「だれでもよかつた」と警察で供述しているが、それは、伝統的な犯罪原因や動機とはいえない。わが国で過去に起こった大量殺人事件でも「犯罪原因と動機」はそれなりに明らかにされてきた。こうした通り魔的無差別殺傷事件の再発防止・模倣犯罪の防止のためには、その犯行の原因・動機の解明こそが焦眉の急である。

#### ▼闇サイト殺人事件

ネット社会の最悪の社会病理現象に闇サイト殺人事件がある。闇サイトとは、携帯電話などを利用して反社会的・犯罪的内容を含むウェブ

サイトを総称したもの。具体的には、犯罪協力者の募集、犯罪行為の依頼、犯罪情報の交換、集団自殺志願者の募集、援助交際などの売春の勧誘などが行われるサイトを指す。

最悪の具体例として、「名古屋・闇サイト強盗殺人事件」(2007年8月)がある。この「無差別殺人」事件は、元新聞拡張員らが闇サイト「闇の職業安定所」で仲間を募り、通り魔のように一面識もない帰宅途中のOL(31歳)を拉致、殺害して遺体を山中に遺棄したものである。

闇サイト犯罪は、匿名性がきわめて高いので犯人の特定が困難である。また、犯人たちも「みんなやれば怖くない」との心理のもと、被害者との人間関係がないうえで「人を殺す」罪悪感のないまま、遊び感覚で殺人事件を犯してしまう。

### 21世紀の新型犯罪を考える

#### ▼サイバー犯罪の増加

情報通信ネットワークの急速な発展にともない、インターネットに関する「モラルハザート」(モラルの崩壊)が生じ、サイバー犯罪の検挙件数も急増し、その犯罪手口も巧妙化、多様化、広域化している。その実態をみると、コンピューター・ウイルスの蔓延や、

スパイウェア、フィッシング、ボットネットなどといった高度な技術を利用したサイバー犯罪が多発し、膨大な被害が出ている。

サイバー犯罪は、①犯罪者の匿名性(年齢・性別・人種など)が高い、②痕跡が残りにくい、③地理的・時間的制約を受けることなく、短期間のうちに不特定または多数の者に被害を及ぼすといった特徴を有する犯罪である。サイバー犯罪の検挙件数は、2007年度中は5473件で、前年より23.7%増加し、過去最高となった。そのうち詐欺の検挙件数は1512件、全検挙件数の38.6%となり、経済的利益を追求したサイバー犯罪が増加する傾向がある。

#### ▼スパイウェア／フィッシング／ボットネット

スパイウェアとは、コンピューターのハードディスクなどに記録された情報やキーボードの操作(入力)情報、表示画面の情報などを外部に流出させる機能を有するプログラムをいう。

フィッシング(Fishing)とは、銀行などの実在する企業を装って電子メールを送り、その企業のウェブサイトに見せかけて作成した偽のウェブサイトを受信者が閲覧しよう誘導し、そこにクレジットカード番号、インターネット上で個人識別するためのID、パスワードなどを入力させて、金融情報や

# 絵本

広松由希子

絵本家

## 絵本の世界を知る

### ▼石井桃子

『ノンちゃん雲に乗る』をはじめとする創作童話や、「クマのプーさん」「うさこちゃん」「ピーターラビット」などの欧米児童文学と絵本の翻訳で知られる。編集者、作家、翻訳家、また家庭文庫活動の草分けとしても活躍し、戦後の児童文学界を牽引した。

1907年、埼玉県浦和市生まれ。日本女子大を卒業後、文藝春秋社に入り、勤めながら児童文学の翻訳を始めた。山本有三に請われ、新潮社の「日

## 用語の解説

（ひろまつ・ゆきこ）1963年L.A生まれ。編集者、文庫主宰。ちひろ美術館学芸部長を経て、フリーに。絵本の研究、評論、執筆のほか、展示企画、講座やワークショップを展開。

本少国民文庫」の編集にも参加。戦後、50年に岩波書店に入社し「岩波少年文庫」シリーズを創刊。絵本では53年「岩波の子どもの本」を創刊、優れた欧米の絵本を紹介すると同時に、国内の作家による創作絵本の出版を開始。自身も多くの絵本の文（『ふしぎなたいこ』など）や翻訳（『ちいさいおうち』『こねこのぴっち』など）を手掛けた。欧米の絵本観を取り入れたシリーズは日本の絵本発展の礎となり、月刊絵本「こどものとも」などの創刊にもつながった。原語の息づかいを生かし、生活実感のある豊かな日本語で、リズムカルで生き生きとした独特の絵本文体を築いた。ほかの代表作に、幼

年の記憶を繊細に蘇らせた自伝『幼ものがたり』、自伝的長編『幻の朱い実』（読売文学賞など）。2008年1月に朝日賞を受賞。4月2日に101歳の生涯を閉じた。

### ▼大阪府立国際児童文学館

1984年、児童文学者の鳥越信が約12万点の資料を寄贈し、万博記念公園内に開館した。子どもの本と関連資料の専門資料館。資料センター、情報センター、また専門員を擁する国際的な研究センターとしての役割をもつ。戦前や終戦直後の貴重な絵本の蔵書は国内随一で、例えば明治・大正初期の「日本一ノ画噺」シリーズ全35巻が揃っているのもここだけ。2008年3月現在、図書・雑誌・原稿や原画など総資料数は約70万点に及び、世界的にもミュンヘン国際児童図書館と双璧と評価されている。財団の第2代理事長、司馬遼太郎が「心のための機関」と呼んだ文学館だが、館の廃止・移転という大阪府の財政再建プログラム案により存続が危ぶまれており、多数の署名、文化人からの支援の声、国内外の団体からの要望書が寄せられている。  
<http://www.iiclo.or.jp/>

### ▼ブックスタート

“Share books with your baby!”（赤ちゃん」と絵本のよろこびを分かち合おう！）という呼びかけで、1992年にイギリスで始まった読書活動。日本

は世界で2番目にスタート。2001年4月に12市町村が実施を始め、08年8月には669市区町村（全国1810市区町村中）にまで広がった。地域に生まれたすべての赤ちゃんに保護者を対象に、自治体の0歳児健診などで、絵本が入ったパックを手渡し、絵本との出会いを促す。近年、アジアや南米にも活動が広がっているが、国によって識字教育の必要など、活動の背景は異なる。日本の場合、希薄になった親子のコミュニケーション、地域社会とのつながりを絵本を介して育むことを重視。NPO「ブックスタート」が各地域への支援事業を行っているが、理事長の松居直が「全国一律の上から下へ降ろす運動になつては、弊害のほうが多くなる」と語るように、「絵本」が母親と赤ちゃんの義務のように背負わされては、本末転倒だ。  
<http://www.bookstart.net/>

### ▼バリアフリー絵本

広くバリア（障害）を超えて楽しめる絵本のこと。視覚障害者のための「点字付き」「手話付き」の絵本、絵を質感で味わえる「さわる絵本」、知的障害や手先の不自由な人も楽しめる「布絵本」などがある。新刊絵本の年間出版数が約1400タイトルといわれる児童出版大国の日本だが、障害を持つ子どもたちの絵本の選択肢はごくわずか。現状を認識し、文学的にも美術的

絵本

文化

本と文芸

絵本

現代アート

哲学・思想

演劇

現代音楽

考古学

現代建築

デザイン

# 哲学・思想

用語の解説

宇波 彰

明治学院大学名誉教授

〔つなみ・あき〕1933年静岡生まれ。東京大学文学部卒。明治学院大学教授等を歴任。著書「記号的理性批判」力としての現代思想」旅に出て世界を考える」ほか。

## 注目語09

### ▼反知性主義のアメリカ

[anti-intellectualism in America]

1963年に刊行されたホーフスタッターの『アメリカの反知性主義』が、刊行後50年以上も経過した現在、にわかには再評価されつつある。それはアメリカ人の考え方の中にある重要な特質のひとつを、豊富な材料を使ってあばき出していったからである。それは「情」を重んじ「知性」を軽視する傾向である。

アメリカ人は主としてヨーロッパからの移民であるから、イギリスの経験

論、ヨーロッパ大陸の合理論という哲

学的伝統があるのは確かである。しかしアメリカ大陸で自然と闘い、自力で生活をしてきた彼らには、「生活重視」で実利的な思想が形成され、そこに知識よりも宗教・実践を重視する「反知性主義」が主流となる。

この反知性主義が、ヘーゲルをねじ曲げて継承したとされる、いわゆるネオコンと結び付いてアメリカの政治政策に影響しているという解釈が正しいかどうか、この「反知性主義」を改めて検討する必要があるだろう。

### ▼イタリア現代思想の台頭

[Rise of contemporary Italian thought] 20世紀後半に、世界の思想をいわば一

極支配していたいわゆる「フランス現代思想」は、フーコー、ドゥルーズ、ラカン、バルトといったスターたちが舞台を去ると、急激に退潮に向かった。それに代わって現在注目を集めているのが、アントニオ・ネグリ、アガンベン、カッチャーリといった現代イタリアの思想家たちである。

ネグリは、アメリカ人のマイケル・ハートとの共著『帝国』『マルチチュード』によって、アメリカを中軸とするグローバル化に対抗する戦略を提示した。アガンベンは、ギリシア・ローマの古典文化の伝統を継承して、政治的な思想を発信している。

彼らは同時にヨーロッパ人であり、スピノザ、フーコー、ガタリの影響が大きい。またイタリアの芸術的伝統もイタリア現代思想に浸透しているのであり、その例は記号論となえ、また作家でもあり、美学の仕事もしているウンベルト・エーコに見ることができだろう。↓マルチチュード

### ▼ベンヤミン思想の再検討

現在の思想状況の中で、特に注目されるのは、ベンヤミンの思想の再検討がアメリカでもしきりに行われていることである。1940年に自殺した、この特異なユダヤ系ドイツ人の思想家の仕事が、ここにきて非常に注目されているのは、彼の思想の中に権力・暴力・言語といった重要なテーマが、き

わめて凝縮されたかたちで示されているからである。

ベンヤミンの思想はフランスではデリダに、イタリアではアガンベンによって継承され、展開されている。アメリカではベンヤミン研究がきわめて盛んであり、ドイツでは新しい全集の刊行が始まった。日本でも若いベンヤミン研究者たちの労作が少しずつではあるが発表されている。

## 現代思想の基礎語

### ▼構造主義 [structuralism]

「構造・関係」という概念を中心において考える立場で、1960年代後半から、フランスを中心に展開された。思想的には、実存主義の退潮のあとに現れた考え方。構造主義の代表的思想家の一人は、フランスの文化人類学者レヴィ・ストロースであるが、彼の構造人類学では、「交換」という概念が最も重視される。構造は、相互に交換可能な要素によって成立しているのであり、こうした構造論はヤコブソン、ソシュールを中心とする20世紀の言語学の影響がある。レヴィ・ストロースはいわゆる未開民族の思考を文明人の思考と同じ位置におき、西欧中心の思想を批判した。

### ▼ポスト構造主義 [post-structur-

文化

本と文芸

絵本

現代アート

哲学・思想

演劇

現代音楽

考古学

現代建築

デザイン



# 世相・流行

用語の解説

## 世相風俗観察会

「せりふ、フレイズ」  
 「せりふ」は、かつて「かんざつかし」(1977年現代風俗研究会の短期プロジェクト「流行歌研究会」として発定)その後、現代風俗史年表(河出書房新社)を編纂するにあたり、現在の名称に「風俗を見つめる目を養うため、定例会を持ち30年余継続している」。

流行が生んだ  
 せりふ、フレイズ

### ▼あなたとは違うんです

自民党の得意技は「投げ出し」と揶揄された二代続いた政権放棄。福田康夫首相の辞任会見で飛び出た言葉。「総理の会見はいつも他人事のように感じるといふ国民が多かったが」という会見最後の記者の質問に逆ギレ。珍しく感情をあらわにして、発した言葉が、「私は自分自身を客観的に見る事ができるんです。あなたとは違うんです」というものだった。この発言は大きな反響を呼び、2ちゃんねるには関

連のスレッドが何本も立ち上げられるなど特にネットでは大流行となった。

「あなたとは違うんです」Tシャツやマグカップなどまで発売された。辞めるときに最高の存在感を示し、それによつて自民党の支持率も上がったというのは、何とも皮肉なことと言わざるを得ない。

### ▼一緒に埋蔵金を探しに行きましようか……あればね

「増税なき財政再建」を主張する中川秀直元自民党幹事長が2007年12月2日の講演で「霞が関埋蔵金はある」とぶちあげたのに対し福田首相が冷笑して言ったせりふ。「霞が関埋蔵金」の命名は与謝野馨が会長の自民党財政

改革研究会、07年11月21日の「中間とりまとめ」で、「財源は各省が握っている特別会計の無駄の中に眠っている」とする民主党を「霞が関埋蔵金伝説の類だ」と一蹴したのが発端。以来、埋蔵金は「ある」「ない」と論議がやまず、08年1月28日の衆院予算委員会で民主党の細野豪志が「埋蔵金総額96兆円」と試算を発表するや、TVニュースショーで、道路財源、居酒屋タクシー、天下り独立行政法人など連日官僚の無駄遣いをやり玉にあげる騒ぎとなり、政治ワイドショーが、テレビをにぎわした。

### ▼まだ、わからないのですか!

テレビ朝日系の人気ドラマで、シーズン6まで製作された「相棒」が、映画化(和泉聖治監督)され、大ヒットを記録。警視庁特命係(実は窓際とされる部署)の杉下右京警部(水谷豊)と亀山薫刑事(寺脇康文)の名コンビが難事件に挑む刑事ドラマだ。知性派の右京と行動で示す薫と対照の妙も「相棒」の魅力か。この言葉は、事件の核心に迫ったときに右京がしばしば口にする。

この人気に本物の警視庁とも「相棒」になり、飲酒運転抑止ポスターにも「まだ、わからないのですか!」がコピーとして採用された。15万枚のポスターが東京地区の私鉄駅などに貼り出された。

### ▼ありえないっつっつ!

テレビの人気ドラマシリーズ「花より男子」と映画「花より男子 ファイナル」(神尾葉子原作、石井康晴監督)で、主演のつくし役、井上真央が超金持ち名門私立校「英徳学園」でのトラブルや、非常識を目の当りにしたときという言葉。雑草娘つくしは、なぜか名門私立校に入学し、学園を牛耳るF4のいじめに遭う。このF4を嵐の松本潤、小栗旬、松田翔太、阿部力といった旬のイケメン俳優が演じる。映画もテレビも同じ配役で、テレビ視聴率の平均は20%にせまり、映画の興行収入は約80億円に。いじめに屈せず、「あんなたちの性根をたたき直してあげる」とたくましく立ち向かうつくしに、いつしかF4のリーダー道明寺(松本潤)が心惹かれていく。そんなハイレインロマンスのようなストーリーも女子の人気を呼んだのだろう。

### ▼おなじの道は一本道にございませう

NHKの大河ドラマ「篤姫」に出てくるセリフが話題を呼んだ。島津斉彬の養女に決まった於一(後の篤姫)に向かって、乳母の菊本(佐々木すみ江)が諭す言葉がこれ。「おなじの道は一本道にございませう。引き返すは恥にございませう」。幕末の世に生まれた女性に向けてられた言葉だが、それが現代の女性にも深い共感を与えた。宿命という抗うことのできない絶対的な制約の中

時代・流行

お笑い

若者

子ども文化

映画

ホビー・音楽

美容

ファッション

社会風俗

日本経済

世相・流行

# カタロペディア

カタロペディアとは、カタロクとエンサイクロペディアをミックスした造語。言葉だけでは何のことだかわからない事柄をビジュアル付きで紹介します。

たとえばエクストラアイス、サイバンインコ、ミリメシ…などなど、2008年に世の中の注目を集めたものが、これを読めば一目瞭然です！

構成／アート・サプライ [宮田文郎、佐々木彩夏] コラム／神足裕司 協力／柳林香澄

## 世相&話題

### 【ゲリラ豪雨】

梅雨が明けたにもかかわらず、超極地的に短時間で大量の雨が降るゲリラ豪雨が頻発した。ヒートアイランド現象の影響もあるといわれ、発生を事前に予測するのが困難なため、水害や落雷によって死者が出る悲劇も起った。

### 【タスポ】

自動販売機での未成年者のたばこ購入を防ぐため、成人識別ICカード「Taspo（タスポ）」が導入された。だが、顔写真が必要など作成が面倒なため、コンビニへ行く人が増加し、その影響でたばこ小売店が苦境に立たされることに。なかには、タスポが要らない顔認証タイプの自販機を置いたたばこ小売店もあり、タスポ自販機よりも売上げがよいとか。



### 【燃料価格高騰】

燃料価格高騰は2008年になっても止まらず。



毎日新聞社

### 【朝バナナ】

朝食バナナダイエットを紹介するTBS系テレビ番組の放送をきっかけに、スーパーなどでバナナ品薄状態が続いた。「朝食は水とバナナだけ」



毎日新聞社

というダイエット法で、08年春から書籍やテレビで話題になっていた。



翌日にはClubTが、この迷言をプリントしたTシャツをさっそく発売するなど、波紋を呼んだ。

### 【レーザ・レーザ】

北京五輪前に、スピード社の水着「レーザ・レーサー」を着た選手が世界新を連発。他社と契約していた日本水連も、現場からの要望に応え五輪での使用を認めた。着用した北島康介選手は世界記録で金メダルを獲得することに。

### 【あなたは違っています】

9月、突然の辞任を発表した福田首相が、会見で質問した記者に対して「私は自分を客観的に見ることが出来る。あなたとは違っています」と発言。



### 【蘇民祭】

岩手県奥州市が制作した黒石寺蘇民祭のポスターが「客に不快感を与える」として、JR東日本に掲



### 【カタロペティア】



示拒否される。厄災を払い、五穀豊穡を願う祭りだが、この騒動で知名度がアップ。本番には多数の報道陣が詰め掛けた。

### 【サイバンインコ】

裁判員制度を広めるため、福岡高検が作ったキヤクター。お祭りごと

が大好きという設定であり、福岡だけでなく全国各地で活躍しており、制度開始を1年後に控えた5月には、鳩山法相（当時）がその着ぐるみに身を包んだ。



【戦国武将ブーム】真田幸村や伊達政宗など「戦国武将」が若い女性の間で人気を呼んだ。漫画・書籍のみならず、缶ジュース、フィギュアなどのグッズが販売され、戦国専門ブランドも立ち上がった。火付け役は戦国

### 【コータリ】の目線



### ▼蘇民祭

そみんさい。武塔神（たけあきのみ）を助けた将来兄弟（将来蘇民）の話から生まれた祭り。近畿地方をはじめ全国にあるが、原型を忠実に守っているのが、岩手県奥州市水沢区黒石町・黒石寺のもの。その1000年の伝統行事のポスターがJR盛岡支社で掲載拒否されたことから騒ぎに。ふんどし姿の男衆はいいとして、全面アップになっている男性

が厚い唇を天に向け、分厚い胸板を飾っている胸毛が立派過ぎた。それがお客さんに「不快感」を与えるとして自主規制（例年ふんどしは許されている）。律儀な岩手県の人々、水沢署は祭り当日「公然わいせつ罪」の取り締まりも匂わせた。

その結果、150人のマスコミがパレインタインデー前夜の2月13日（旧暦1月7日）夜10時から始まる祭りへ詰め掛け、大にぎわいになった。広告効果に換算すると31億円だそうである。雪のしんしんと降る岩手。ふんどしの男たちが薄氷の張った川で身を清める。無病息災のもとになる麻でできた袋の奪い合いは、闇の中で行われた。【神足裕司】